

議事録

件名	令和2年度第1回 久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 地域ケア会議専門部会
日程	令和2年6月22日（月）～令和2年7月1日（水）
参加者	古村部会長、松本副部会長、岡委員、杉本委員、真木委員、中原委員、今里委員、柴田委員、重永委員、濱本委員、後藤委員、吉永委員、古賀委員
次第	1. 報告・協議事項 個別支援地域ケア会議・地域課題ケア会議の分析（平成29年度～令和元年度）について 2. その他について (1)今後のスケジュールについて
意見	1. 報告・協議事項 個別支援地域ケア会議・地域課題ケア会議の分析（平成29年度～令和元年度）について
委員	複合的な課題をもっている世帯、家族だけでは解決できない課題をもっている世帯など報告があったが、彼らが相談できる人や場所があるのか。あるとすれば、それを知っているのか。仮に相談できていたとすれば、解決に至らないのは何が課題かについて検討する必要があるのではないか。
委員	個別支援地域ケア会議・地域課題ケア会議の分析については会議の頻度や具体的な課題を詳しく知ることができ、それぞれの会議が機能していることが分かった。 その会議で解決できなかった課題は更にその会議の上のレベルの会議で検討されるための地域ケア会議というシステムだと思うが、そのシステムそのものはうまく稼働できているのか、その検証はされているのか。
委員	各自治会への応援を求める。日頃関心が薄い人や交流がない人への対応を考える。各担当部署のチームワークが必要。
委員	地域の課題克服と孤立を防止するため、両ケア会議がますます充実することを祈念する。そのためにも参加者にとって「参加しがいい」が感じられるようにすることも大事と思った。（たとえば、参加者みんなで地域の課題を解決しているという実感など。）
委員	多種・多様な事例が詳細に報告されており、今後の参考になった。
委員	2. その他について (1)今後のスケジュールについて 包括支援センターと薬剤師会間で認知症地域課題検討ケア会議を3回ほど行っている。その中で取り組んできたものをベースに会員薬局にも広げていくことを考えているが、個人情報の問題から、なかなかもう一歩が踏み出せないのではという意見が当薬剤師会の委員会から出た。 個人情報保護の問題や同意の必要性などの問題をどうクリアしていくかは今後の課題ではあるが、薬剤師会としても地域で活動するうえで、今後も取り組んでいきたいと思うし、是非活用して欲しい。 保険薬局が主流となる以前の薬局は、地域に根ざしたまちの困りごと相談の場であったことを踏まえ、現行保険薬局薬剤師も取り組むべき課題としてあげている。